学則（収容定員）の変更の趣旨等を記載した書類

１．収容定員変更の内容

令和 9 年度における神戸大学医学部医学科の入学定員を 12 人増員し、100 人から 112 人に変更する。

	入学定員	2 年次編入学定員	収容定員
変更前	１００	５	６２５
変更後	１１２	５	６３７

２．収容定員変更の必要性

〈地域枠〉

全国的に地域医療に従事する医師の不足が指摘されている中、平成 28 年 10 月に兵庫県が策定した兵庫県地域医療構想において、全県で取り組む事業として県内の医師不足地域の勤務医の確保が掲げられており、兵庫県において、特殊な医療を除く一般的な医療サービスを提供する二次医療圏別にみると、人口 10 万人対の医師数は、神戸圏域(349.6 人)・阪神圏域(281.3 人)では全国値(266.8 人)を上回るものの、その他の 6 圏域(218.1～258.4 人)では全国値を下回っている。

このような状況を踏まえ、本学では、地域医療に携わる医師の不足という状況の解消に向けた医師養成の取組を行っているところであり、「経済財政改革の基本方針 2009」（平成 21 年 6 月閣議決定)に基づいた兵庫県からの医師養成数増の依頼を受け、平成 22 年度に医学部医学科の入学定員を 3 人、「新成長戦略(平成 22 年 6 月閣議決定)」に基づいた兵庫県からの依頼により平成 23 年度には入学定員を 2 人、平成 24 年度には入学定員を 3 人、平成 25 年度には入学定員を 2 人増やしていたところである。

このたび、「経済財政運営と改革の基本方針 2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」（平成 30 年 6 月 15 日閣議決定）及び「令和 8 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持 について（令和 6 年 11 月 20 日厚生労働省医政局長・文部科学省高等教育局長通知)」を踏まえ、また、兵庫県から令和 9 年度以降も継続したいとの依頼を受け、県内の地域医療に従事する医師確保政策に対応するため、兵庫県と本学が連携して、令和 9 年度以降引き続き医学部医学科の入学定員 10 人増を行い、卒業後、県内で地域医療に貢献する医師を養成し、効率的・効果的に医師を配置しようとするものである。

〈研究医枠〉

「地域の医師確保等の観点からの平成 26 年度医学部入学定員の増加について」（文部科学省高等教育局長通知）を踏まえ、社会的要請の強い基礎医学分野の研究医の養成を図るため、平成 26 年度から研究医養成の入学定員を 2 人増員していたところである。

このたび、「経済財政運営と改革の基本方針 2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」（平成 30 年 6 月 15 日閣議決定）及び「令和 8 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持 について（令和 6 年 11 月 20 日厚生労働省医政局長・文部科学省高等教育局長通知）」を踏まえ、令和 9 年度は引き続き医学部医学科の入学定員 2 人増を行い、基礎医学分野の研究医の養成を図るものである。

３．収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

地域枠は平成 22 年度から、研究医枠は平成 26 年度から入学定員を増員して教育を行っており、今回の増員に伴い教育課程等の変更はない。

〈地域枠〉

教育課程については平成 22 年度の定員増の際に計画したとおり、従前から開講していた 1 年次の「初期体験臨床実習」に加えて、地域医療に関する科目を 1 年次から 6 年次まで計画的に学べるよう配当している。

1 年次では、入学手続き後に「総合診療セミナー」を実施し、夏季集中講義「初期体験臨床実習」で地域におけるチーム医療を体験させ、1～3 年次にかけて「地域医療学」を開講し、地域医療に関する理解をより深めるようにしている。

また、2 年次には早期臨床実習 1（介護施設での実習）、3 年次には早期臨床実習 2（特別支援学校での実習）や行動科学において講義を行っている。4 年次ではチュートリアル教育から独立して、地域社会医学実習（在宅ケア・訪問看護の実習）を新たに開講し、地域の医療問題に焦点を当てた問題解決型学習を実施している。

さらに、5 年次から 6 年次の「臨床実習 1～3」の中で地域医療現場での実習を行い、地域医療機関におけるクリニカルクラークシップ（医学生が医療チームの一員として患者の診療に携わる臨床実習形態）型の実習に参加させるようにしている。教員組織については、平成 22 年度に地域医療に関する教育を担当する教員を 2 人増員し、体制を充実させている。

〈研究医枠〉

平成 24 年度から、基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成プログラム（文部科学省大学改革推進事業）として、「基礎医学研究医育成コース」を実施している。このコースは、医学部医学科において新医学研究コース・基礎配属実習 1・基礎配属実習 2 を履修した後、「医学研究 (1)」、「医学研究 (2)」、「医学研究 (3)」及び「医学研究 (4)」を履修しようとする者を対象とし、他の学生と同様に医師になるために必要な教育を受けると同時に、科学的思考法を身につけ論文作成や学会発表等を体験し、早期から基礎研究医に必要な技能を修得させるものである。また、履修生の研究指導強化のための研修会開催、学会等での発表援助等学生が意欲的に研究に参加できるような支援を行っている。

平成 26 年度以降は、「基礎医学研究医育成コース」における選択科目履修のため、

元々2 年後期～3 年前期にかけて開講していた基礎配属実習 1・基礎配属実習 2 を 2 年後期に集約して完結させ、その後、「医学研究（1)・(2)・(3)・(4)」へ進む等の 6 年間を通して研究に携わる授業を設けている。

以上に述べた複合的な取り組みを通して、基礎医学研究医育成に対する教育基盤は整備されていることから、今回の入学定員の増員に伴う新たな教育課程、教育方法、履修指導方法、及び教育組織の変更は行わない。一方で、参加型臨床実習時間を大幅に増やすと同時に、研究者育成のための教育の更なる充実を図るため、「基礎医学研究医育成コース」履修者は、臨床実習中においても必要に応じて研究に専念できるカリキュラムを設けている。

また、平成 28 年度からは、奈良県立医科大学、関西医科大学、大阪医科大学、兵庫医科大学、神戸大学の 5 校で関西 5 医科大学コンソーシアムを形成（令和 4 年度からは藤田医科大学が加盟して 6 大学で構成）して、毎年 1 回一泊二日で交流のリトリートを開催している。令和 5 年度は数年ぶりに対面で開催され、神戸大学からは 2 名の学生が参加し、学生、教員と活発な議論を展開した。加えて従来神戸大学内で開催していたリトリートを令和 5 年度から京都大学、大阪大学の学生・教員も正式に参加して「京阪神リトリート」として開催し、さらに令和 6 年度からは広島大学も加わり「関西医学生リトリート」とし、履修生同士の交流、大学教員同士の意見交換や卒業生の招聘による交流等を通じて互いに発展できる取り組みを行っている。

令和９年度
医学部入学定員増員計画

神大企第３１号
令和８年８月２４日

文部科学省高等教育局長　殿

神戸大学長
藤　澤　正　人

「地域の医師確保等の観点からの令和９年度医学部入学定員の増加について（令和８年８月７日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

＜連絡先＞

責任者連絡先	職名・氏名	医学部学務課長　泓　幹雄
	TEL	078-382-5205
	E-mail	kyomu1@med.kobe-u.ac.jp

大学名	国公私立
神戸大学	国立

1．現在（令和８年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
113	5	0	699

（収容定員計算用）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
（ア）入学定員	112	112	112	112	113	113	674
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	117	117	117	117	118	113	699

2．本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和９年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
100	5	0	625

（収容定員計算用）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	計
（ア）入学定員	100	100	100	100	100	100	600
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	105	105	105	105	105	100	625
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

3．令和９年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
112	5	0	637

（収容定員計算用）

	R9	R10	R11	R12	R13	R14	計
（ア）入学定員	112	100	100	100	100	100	612
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	117	105	105	105	105	100	637
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数	12

（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	**10**
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	**2**
計	**12**

地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	10

（１）対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	兵庫県	10
大学所在地以外の都道府県		
計		10

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R7地域枠定員（※1）	R7貸与者数（※2）	R8地域枠定員（※1）	R8貸与者数（※2）	R7とR8の貸与者数のうち多い方の数
兵庫県	10	10	10	10	10
					0
					0
					0
					0
					0
計	10	10	10	10	10

（※1）臨時定員分のみご記入ください。

（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（３）令和９年度地域の医師確保のための入学定員増について

１．大学が講ずる措置

１－１．地域枠学生の選抜

①**令和７年度に実施した**地域枠学生（令和８年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	開始年度	一般枠との併願	備考
学校推薦型選抜（地域特別枠）	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	10	10	高等学校等の長の推薦に基づき、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して行います。 なお、出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テスト（6教科8科目）の成績により第1次選抜を行います。 この場合は、第1次選抜合格者にのみ、最終選抜として「面接・口述試験」を行い、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。	次のすべての要件を満たす者 （１） 高等学校等の長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者 （２） 兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し、かつ卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事することが確約できる者 （３） 調査書における全体の学習成績の状況が4.3以上で、かつ人物が優れていると認められる者 （４） 令和8年度大学入学共通テストで本学の指定する6教科8科目を受験する者	無		H22	併願不可	
合計			10	10							

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②**令和８年度に実施する**地域枠学生（令和９年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	開始年度	一般枠との併願	備考
学校推薦型選抜（地域特別枠）	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	10	10	高等学校等の長の推薦に基づき、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して行います。 なお、出願者数が募集人員の約2倍を上回る場合は、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テスト（6教科8科目）の成績により第1次選抜を行います。 この場合は、第1次選抜合格者にのみ、最終選抜として「面接・口述試験」を行い、推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。	次のすべての要件を満たす者 （１） 高等学校等の長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者 （２） 兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し、かつ卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事することが確約できる者 （３） 調査書における全体の学習成績の状況が4.3以上で、かつ人物が優れていると認められる者 （４） 令和8年度大学入学共通テストで本学の指定する6教科8科目を受験する者	無		H22	併願不可	
合計			10	10							

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

１－２．教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和９年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1～3年次に「地域医療学」、3年次に「行動科学」、4年次に「臨床医学講義3（ユニット4の1部としての地域医療）」という科目を開講するとともに、2年次に「早期臨床実習1」、3年次に「早期臨床実習2」、4年次に「地域社会医学実習」を行い、5･6年次における臨床実習も含め、地域包括ケアを学び体験する6年一貫の地域医療教育を実施している。	（参考：記入例） 1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和９年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成22年度から地域枠による増員を開始し、授業以外に地域医療体験ツアー・先進地域ツアー・健康講話ツアー・冬季セミナーなどの取組を行ってきた。令和8年度までに157名の地域枠学生を確保し、そのうち97名が卒業し、86名が現在「県養成医師キャリア形成プログラム」のもと地域医療に貢献している。	（参考：記入例） 平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和８年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのう▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1～3年次	地域医療学	全員	必修	必修	講義	1	H22
2年次	早期臨床実習１	全員	必修	必修	実習	1	H27
3年次	行動科学	全員	必修	必修	講義	1	R3
3年次	早期臨床実習２	全員	必修	必修	実習	1	H28
4年次	臨床医学講義３（ユニット４）地域医療	全員	必修	必修	講義	14単位のうち1単位相当	H29
4年次	地域社会医学実習	全員	必修	必修	実習	1	H29
5～６年次	臨床実習1～3	全員	必修	必修	実習	64	R4

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者（※1）	都道府県との連携	期間（例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度
1～6	地域医療夏季セミナー	全員	有り	3日間	地域医療活動の体験を通して、へき地保健医療に対する認識を高め、へき地での勤務に対する動機を促すため実施	H22
1～6	総合診療セミナー	地域枠学生	有り	2日間	地域医療人としての意識の早期醸成を図る、総合診療セミナーを実施	H22
1～6	地域わくわく会	地域枠学生	有り	1日	兵庫県養成医学生が、地域医療に関する体験の発表と情報共有を通して、地域医療を実践するための仕組みを理解する	H23
1	地域医療体験ツアー	全員	有り	2日間	朝来市のそよかぜ診療所、はるかぜ診療所での診療体験等を通じて地域医療機関の役割等を認識するため実施	H26
2～4	地域医療先進地域見学ツアー	地域枠学生	有り	2～3日間	地域医療に先進的に取り組む地域に赴き、地域医療活動の実態、地域住民と病院との関係、地域づくり等の知識を学ぶ	H26
2～5	地域医療健康講話ツアー	全員	有り	2日間	丹波市で開催される住民向け講習会にて健康講話の実践を通じて地域医療機関の役割等を認識するため実施	H26
1～6	地域医療エキスパートセミナー	全員	有り	1日	地域医療のエキスパートを招聘し、実践している地域医療活動の紹介や地域医療に係る知識等の講演会を実施	H26
1～6	よいとこ健診ツアー	全員	有り	1日	まちづくり事業の一部であるよいとこ健診の企画・実施を通して、地域活動のスキル習得のため実施	H30

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和８年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域医療シンポジウム	地域全体の教育スキルを高める「地域医療のあり方と住民の地域医療教育への関わりを考える」をテーマに年1回開催	H26
兵庫県養成医師臨床研修指定病院・研修内容説明会	兵庫県養成医師の受ける臨床研修内容の情報交換（特に5年生）ならびに研修の一層の充実を図ることを目的に年1回開催	H27
ＭｅｎＪｏｙプロジェクト	地域医療の現場での課題や悩みを明確にし、解決策について議論を深めるため講演会、ワークショップを年1回開催	H27
兵庫県養成医を対象としたキャリア形成支援のための研修会	派遣・研修中の県養成医に、兵庫県養成医制度（修学資金貸与制度）の概要の説明、県養成医間の交流を深めることを目的に年1回開催	H27
内視鏡セミナー	兵庫県養成医師・医学生を対象に、シミュレーターを使用し、内視鏡手技をトレーニングするセミナー。年1回開催	H28
侵襲的手技セミナー	兵庫県養成医師・医学生を対象に、シミュレーターを使用し、骨髄穿刺、関節穿刺、胸腔穿刺、脊椎穿刺の手技をトレーニングするセミナー。年1回開催	H28
兵庫県養成医師web連絡会議	兵庫県養成医師が出席するテレビ会議を開催。情報共有や勤務における問題点、疑問などについて議論。月1回開催	H29

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

２．都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第４条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額　（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
兵庫県	10人	新入生	備考欄に記載	（一人あたり）11,514,800円	大学を卒業し医師免許取得後、直ちに医師として兵庫県が定めるキャリア形成プログラム（県養成医師キャリア形成プログラム）に沿って、当県が指定するへき地（医師不足地域等）の公立病院等で9年間勤務した場合、貸与した修学資金の返還を免除します。	②大学における選抜と同時に都道府県において面接等を実施	×	無		四半期毎に458,950円を貸与（初回のみ958,950円）

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
卒後勤務に関するヒアリング	兵庫県養成医学生6年生を対象に、臨床研修病院の希望等のキャリア形成に係るヒアリングを兵庫県担当者と連携して実施している。	H26
勤務希望に関するヒアリング	兵庫県養成医師に対して、兵庫県担当者と連携して、勤務希望等のキャリア形成に係るヒアリングを実施している。	H26
勤務状況等に関する相談業務	派遣中の兵庫県養成医師に対して、兵庫県担当者と連携して、現地を訪問し、勤務環境に係る相談業務を実施している。	H27

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

３．在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
学年懇談会	兵庫県養成医学生全学年を対象に、兵庫県担当者と連携して、制度および卒後のキャリアパスに係る相談を学年別の年2回の頻度で実施している	H26
学修相談およびキャリア形成相談業務	兵庫県養成医学生を対象に、兵庫県担当者と連携して、個別に学修相談および卒後のキャリア形成に係る相談業務を実施している。	H26
卒後臨床研修病院に関する説明会	兵庫県養成医学生4年生と5年生を対象に、兵庫県担当者と連携して、臨床研修病院の病院概要および臨床研修内容の説明会を実施している。	H27

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

４．その他

１～３に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

令和８年度

学校推薦型選抜
（地域特別枠）

医学部医学科
学生募集要項

神戸大学

感染症や自然災害等の不測の事態により，入学者選抜の実施方法に変更が生じる場合があります。
その場合は，医学部医学科ホームページ（https://www.med.kobe-u.ac.jp/index.html）にその旨を案内しますので、適宜ご確認ください。特に試験前日には必ずご確認ください。

目　　次

１　趣　　旨　・・・

１　趣　　旨

医学部医学科における教育は，高い倫理観を有し高度な専門的知識・技能を身に付けた医師を養成することを目的としていますが，それにとどまらず，旺盛な探究心と想像力を有する「科学者」としての視点を持った医師及び生命科学・医学研究者を育成することを目指し，広い視野を有し，それぞれの領域における指導者として，国内外で活躍できる人材の育成を目標としています。

また，医師不足の問題が指摘されている中，社会の要請に応える観点から，学校推薦型選抜（地域特別枠）を実施します。

したがって，医学部医学科への入学を志す受験者は，これらのことを受け止めることのできる能力や知識を持った人材であることが要求されます。

２　学校推薦型選抜（地域特別枠）で求める学生像

１．兵庫県地域医療支援医師修学制度を深く理解し，兵庫県におけるへき地（医師不足地域等）の医療を担う強い意志を持った学生
　〔求める要素：主体性・協働性，関心・意欲〕
２．誠実かつ勤勉で，医師にふさわしい人間性を備えている学生
　〔求める要素：主体性・協働性，関心・意欲〕
３．生命科学・医学に強い興味を持ち，探究心と学習意欲が旺盛な学生
　〔求める要素：関心・意欲〕
４．しっかりとした基礎学力を身に付けている学生
　〔求める要素：知識・技能〕
５．協調性があり，問題解決においては独創性と指導力を発揮できる学生
　〔求める要素：思考力・判断力・表現力，主体性・協働性〕
６．国際的に活躍する意欲を持った学生
　〔求める要素：主体性・協働性，関心・意欲〕

３　学校推薦型選抜(地域特別枠)の実施目的及び兵庫県地域医療支援医師修学制度の概要

（１）　実施目的

全国的に医師不足の問題が指摘されている中，兵庫県においても一部の地域や診療科などで，必要な医療体制を確保し，維持していくことが難しい状況が生まれています。

学校推薦型選抜（地域特別枠）では，国の「経済財政改革の基本方針２００９」に基づき，将来の兵庫県における医療を担う人材を兵庫県と連携して育てていくことを目的としています。

医師として活躍するに十分な資質と明確な目的意識を持ち，兵庫県のへき地（医師不足地域等）医療（注）に貢献したいという強い関心を持ち，へき地（医師不足地域等）に定着する意志を持つ人の入学を期待しています。

（注）兵庫県のへき地（医師不足地域等）医療
　①　兵庫県地域医療支援医師修学制度による医師として兵庫県知事が指定するへき地（医師不足地域等）の公立病院等や診療所に勤務すべき年限（義務年限）は９年間となっており，医師不足の問題を抱えているへき地（医師不足地域等）が主な勤務地となります。
　②　義務年限の期間に選択可能な診療科と勤務先は兵庫県が決定します。

（２）　兵庫県地域医療支援医師修学制度の概要

当該学校推薦型選抜による入学者全員に対して，兵庫県が学費，生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。入学者は全員，入学時に兵庫県から修学資金貸与決定を受け，６年間修学資金が支給されます。兵庫県地域医療支援医師修学制度の詳細は，以下の兵庫県による「兵庫県地域医療支援医師修学制度について」を参照してください。

「兵庫県地域医療支援医師修学制度について」

兵庫県では，地域医療を志す神戸大学医学部医学科学校推薦型選抜（地域特別枠）により入学した者を対象に，次のとおり修学資金を貸与します。

＜修学資金貸与について＞

①　貸与資格

令和８年度神戸大学医学部医学科学校推薦型選抜（地域特別枠）により入学した者で，大学卒業後，直ちに医師として兵庫県が指定するへき地（医師不足地域等）の公立病院等で勤務する意思を有していること。

② **貸与額**

（１）１年生　　年額２，３３５，８００円

（２）２～６年生　年額１，８３５，８００円

※貸与額は現在の予定であり，今後変更する可能性があります。

③ **貸与期間**

６年間を限度とする（正規の修学期間）。

④ **返還の免除**

大学入学時から卒業まで兵庫県が定めるキャリア形成卒前支援プランに参加し，県が指定する地域医療に関する各種研修に参加のうえ，大学を卒業すること。その後，医師免許を取得し，兵庫県の正規職員として採用され，直ちに医師として兵庫県が定めるキャリア形成プログラム（県養成医師キャリア形成プログラム）に沿って，当県が指定するへき地（医師不足地域等）の公立病院等で９年間勤務した場合，貸与した修学資金の返還を免除します。

この期間は兵庫県の正規職員として採用し，２年間の臨床研修，２年間の後期研修を含みます。

（令和７年度現在の勤務形態）

卒後年数	１年目	２年目	３年目	４年目	５年目	６年目	７年目	８年目	９年目
勤務形態	臨床研修		前期へき地 （医師不足地域等）派遣			後期研修		後期へき地 （医師不足地域等）派遣	

※当該プログラムの詳細は兵庫県のホームページを参照してください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf15/ishisyugakushikin.html

⑤ **その他**

兵庫県地域医療支援医師修学制度に関する詳しいことは，下記までお問い合わせください。

兵庫県地域医療支援センター（兵庫県保健医療部医務課内）

〒650-8567　神戸市中央区下山手通５－１０－１

電　話　　078-341-7711　内線3230

メール　　imu@pref.hyogo.lg.jp

４　募集人員　　10人

５　出願資格

次のいずれかに該当する者

（１）兵庫県内に所在する高等学校又は中等教育学校（以下「高等学校等」という。）を令和６年４月から令和８年３月までに卒業又は卒業見込みの者

（２）兵庫県外に所在する高等学校等を令和６年４月から令和８年３月までに卒業又は卒業見込みの者であって，出願時において，本人又は保護者のいずれかが３年以上継続して兵庫県に在住している者

（注）出願資格（２）による出願について

以下のいずれかの要件に該当することを確認し，必要な書類を提出してください。

（２）-Ａ：出願時において，本人の現住所地が３年前（令和５年１月１日以前）から引き続き，兵庫県内にあること。

（２）-Ｂ：出願時において，保護者の現住所地が３年前（令和５年１月１日以前）から引き続き，兵庫県内にあること。

この場合の保護者とは父母とします。ただし，父母がいない場合は祖父母等とします。

また，保護者のいずれかが単身赴任等により兵庫県外に居住する場合も，兵庫県内に居住する保護者の現住所地を選択しても結構です。

ただし，保護者の現住所地は，３年前（令和５年１月１日以前）から引き続き，兵庫県内にある場合に限ります。

6　出 願 要 件

次のすべての要件を満たす者

（1）　高等学校等の長が責任をもって推薦でき，合格した場合は入学を確約できる者

（2）　兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し，かつ卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事することが確約できる者

（3）　調査書における全体の学習成績の状況（旧評定平均値）が**4．3以上**で，かつ人物が優れていると認められる者

（4）　令和８年度大学入学共通テストの次の６教科８科目を受験する者

教 科 名	科　　目　　名	
国　　語	『国語』	
地理歴史	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』	から１
公　　民	『公共，倫理』，『公共，政治・経済』	
数　　学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』	
理　　科	『物理』『化学』『生物』から２	
外 国 語	『英語』	
情　　報	『情報Ⅰ』	

（注）1　『英語』については，「リーディング」と「リスニング」を課します。

7　推 薦 人 員

各高等学校等から推薦できる者は，１校あたり**2人以内**とします。

8　出 願 手 続

（1）出願期間

令和8年1月14日(水)から令和8年1月21日(水) 17時までに必着

出願書類の受付は，郵送のみとし，直接持参しても受理できませんので，郵便事情を十分に考慮して早めに送付してください。

（2）出願に必要な書類等

書　類　等	備　　考
①入　学　願　書 （整　理　票）	所定の用紙により，「入学願書記入上の注意」を参照の上，記入してください。（12ページ参照）
②大学入学共通テスト 成績請求チケット	**大学入学共通テスト出願サイトのマイページから取得した令和８年度共通テスト成績請求チケット（国公立推薦型選抜用）を入学願書の所定の欄に貼ってください。**
③調　査　書	文部科学省所定の様式により高等学校等の長が作成し，厳封したもの
④推　薦　書	所定の用紙により高等学校等の長が作成したもの（出願日より遡って３か月以内に作成し，厳封したもの）（直接印刷出力可，貼付不可。様式に貼付して作成した場合はそのまま提出せず，それをコピーしたものの方に高等学校の長による証明を行い提出してください。）
⑤志 望 理 由 書	『出願動機と兵庫県の地域医療に対する抱負』について，所定の用紙により自筆にて記入・作成したもの。
⑥写　　真	３か月以内に撮影したものを整理票の所定欄に貼ってください。 （上半身，脱帽，正面，縦４㎝・横３㎝ ）
⑦検　定　料	**１７，０００円** 所定の郵便局・ゆうちょ銀行専用払込用紙（検定料用）を使用して郵便局・ゆうちょ銀行（ＡＴＭ不可）で払い込み，振替払込受付証明書（郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が必要）を願書裏面の所定の欄に貼り付けて提出してください。

	納付された検定料は次の場合を除き返還できません。 ①出願書類等を提出しなかった場合，出願書類等が受理されなかった場合 ②検定料を誤って二重に払い込んだ場合 ③出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合 ④第１次選抜で不合格となった場合 （第１次選抜は，出願者が募集人員の約２倍を上回る場合のみ実施します） ※検定料の返還額・方法 ・上記①又は②の場合 返還額は別途お知らせします。 ・上記③又は④の場合 １３，０００円を返還します。 返還方法は「検定料返還請求書」にてお知らせします。
⑧郵便送付票	所定の用紙に出願者が確実に受信できる郵便番号・住所・氏名を記入し，**郵便切手780円分**を貼ってください。
⑨受験票	出願者の郵便番号・住所・氏名，裏面の氏名欄を記入し，**郵便切手85円分**を貼ってください。 第２次選抜を受験する際は，①学校推薦型選抜受験票及び②大学入学共通テスト受験票の両方を持参してください。 ※今年度より，受験票の送付方法及び送付時期を変更いたしました。 送付時期については，留意事項（７ページ）も併せてご確認ください。
⑩住民票等 出願資格（２）により出願するもののみ提出	出願資格（２）により出願する者については，住民票等の提出が必要となります。住民票等は出願日前３か月以内に発行された個人番号（マイナンバー）が記載されていないものを提出してください。個人番号（マイナンバー）が記載された住民票等は受理できません。 （２）-Ａ：出願時において，本人の現住所地が３年前（令和５年１月１日以前）から引き続き，兵庫県内にあること。 → ・入学志願者本人の住民票 ３年以内（令和５年１月２日以降）に兵庫県内で転居している場合は，住民票の除票が必要になる場合があるので注意してください。 （２）-Ｂ：出願時において，保護者の現住所地が３年前（令和５年１月１日以前）から引き続き，兵庫県内にあること。 → ・保護者の住民票 ３年以内（令和５年１月２日以降）に兵庫県内で転居している場合は，住民票の除票が必要になる場合があるので注意してください。 ・入学志願者と保護者との関係が分かるもの 入学志願者と保護者との関係が分かるものとして，以下のいずれか一つを提出してください。 □ 住民票（続柄が記載されているもの） □ 入学志願者の出身高等学校等が発行する証明書（様式任意・学校長の証明印があるもの） □ 健康保険証の写し（続柄が記載されているもの） □ 市区町村役場が発行するもので関係がわかるもの

（３）出願書類の送付先

〒650-0017　神戸市中央区楠町７－５－１

神戸大学医学部医学科　教務学生係

９　入学者選抜方法

高等学校等の長の推薦に基づき，推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して行います。

なお，**出願者数が募集人員の約２倍を上回る場合**は，推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テスト（６教科８科目,以下の配点）の成績により**第１次選抜**を行います。

この場合は，第１次選抜合格者にのみ，最終選抜として「面接・口述試験」を行い，推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。

（１）面接・口述試験

「面接・口述試験」を通して，地域医療・医学への興味や適性，学習意欲，思考性，論理性，人間性などについて多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（地域特別枠）の実施目的を考慮し，特にへき地（医師不足地域等）の医療に対する熱意及び，へき地（医師不足地域等）に定着できる可能性等の観点から受験者の資質を見極めます。

試　験　期　日	試　験　時　間	試　験　科　目
令和８年２月８日（日）	10時00分～	面接・口述試験

(注)受験者は受験者控室に９時45分までに集合してください。
試験開始時刻等の詳細については，当日掲示します。
（試験は，遅くとも18時までに終了する予定です。）

（２）大学入学共通テストと面接・口述試験等の配点等

試 験 の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	書類審査	面接･口述試験	合　計
大学入学共通テスト	150	(*1) 50		200	200	(*2) 200	25			825
書　類　審　査								100		100
面 接 ・ 口 述 試 験									300	300
合　　計	150	(*1) 50		200	200	(*2) 200	25	100	300	1225

（注）(*1)印は，２科目を受験した場合は，第１解答科目の成績を用います。
(*2)印は，リーディング〔100点満点〕を160点満点に，リスニング〔100点満点〕を40点満点に換算し，合計得点200点満点に換算します。なお，リスニングを免除された者については，リーディング〔100点満点〕を200点満点に換算した成績を用います。

（３）不正行為の取扱いについて

次の①～④のことをすると，不正行為となります。不正行為と認められた場合の取扱いは，以下のとおりです。

- **受験の中止を指示され，それ以降の試験は受験できません。（当該年度の本学の全ての受験を認めません。）**
- **すでに受験している当該年度の本学の入学試験も全て無効となります。**
- **不正行為により公平な本学の入学試験の実施に著しく影響を与えた場合は，警察に被害届を出すことがあります。**

①受験者以外の者が試験を受けること。
②試験時間中に携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）等の電子機器類を机の上に置いたり，身につけたり，使用すること。
③面接・口述試験委員等の指示に従わないこと。
④その他，他の受験者の迷惑となる行為をすること，試験の公平性を損なう行為をすること。

※携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）等の電子機器類を時計として使用することはできませんので，面接・口述試験委員の指示に従い，電源を切ってかばんに入れておいてください。また，アラームの設定を解除していない場合，電源を切っていても鳴ることがありますので，控室に入る前に必ずアラームの設定を解除しておいてください。

10　試験場及び交通機関

試　験　場	所　在　地	交　通　機　関
神戸大学 医学部附属 地域医療活性化 センター	神戸市兵庫区 荒田町２－１－５	○ＪＲ「神戸」駅下車　北へ徒歩約15分 ○神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車　北へ徒歩約10分 ○神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車　西へ徒歩約８分 ○バス利用　ＪＲ「神戸」駅前より神戸市バス110系統 もしくは112系統に乗車 約５分 「楠町６丁目」バス停下車

（注）詳細は11ページを参照してください。

11　合 格 者 発 表

（１）　**第１次選抜を実施した場合は，令和８年２月５日(木)17時**に第１次選抜結果を神戸大学医学部ホームページに掲載するとともに，**令和８年２月６日(金)午前中**に選抜結果を受験者全員に電子郵便により通知します。なお，令和８年２月６日(金)中に未着の場合は，令和８年２月７日(土)午前中に最寄りの集配郵便局へ問い合わせてください。

（２）　**最終合格者発表は，令和８年２月10日(火)16時**(予定)に神戸大学医学部ホームページに掲載するとともに，合格者に「入学の手引き」等の書類を速達郵便で発送します。
なお，合格者への「合格通知書」は交付しません。
また，電話等による合否に関する問い合わせには一切応じることはできません。
医学部ホームページアドレス：https://www.med.kobe-u.ac.jp

（３）　合格者は，国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部（※）を除く。以下同じ。）の個別学力検査等を受験しても，その大学・学部の合格者とはなりません。
※公立大学協会ホームページ参照 https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050

12　入 学 手 続

合格者は，医学部医学科教務学生係において，次により入学手続を行ってください。
（１）入学手続日時
令和８年２月18日(水) 10時から16時まで
上記手続日に(２)の手続書類等を持参できない場合は，２月16日(月)17時までに電話によりその旨を連絡のうえ，郵送（書留速達郵便にて２月18日(水)16時までに必着）にて入学手続を行ってください。

（２）入学手続に必要なもの

	手　続　書　類　等	備　　考
①	令和８年度「国公立大学入学確認票」	大学入試センターより発行。
②	令和８年度学校推薦型選抜(地域特別枠)受験票	
③	納付金 ◎ 入 学 料　　２８２，０００円	入学料については，(1)の入学手続日までに納付してください。

（注）　１　上記の金額は，令和７年度の実績です。
２　入学手続の詳細(提出書類及び入学料の納付方法等)については，合格者に速達郵便でお知らせします。
３　納付した入学料は，返還できません。
４　授業料は，年額535,800円です。（令和７年度実績）
前期分の授業料（267,900円）は，令和８年４月下旬に口座引き落としとなります。詳しくは，入学手続の詳細であわせてお知らせします。
なお，在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

（３）入学手続における留意事項

ア　合格者本人がやむを得ない事情により入学手続に来られない場合は，代理人によることも差し支えありません。

イ　入学手続が完了した者に「入学許可書」等の書類を交付します。

13　入学辞退者の取扱いについて

合格者が特別の事情により，入学手続を行わない場合は，医学部医学科教務学生係に事前に連絡の上，推薦を行った高等学校等の長から，令和８年２月18日(水)16時までに「学校推薦型選抜入学辞退届」を提出し，本学の許可を得てください。

合格者が，所定の期日までに入学手続をしなかった場合は，入学辞退の許可を得た場合を除き，合格者としての権利を消失し，出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても，その大学・学部の合格者とはなりません。

14　一般選抜への出願について

出願者は，学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて，「前期日程」から一つ，「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部を選んで出願することができます。

なお，前期日程グループ及び後期日程グループに属さない大学・学部への出願は特に妨げません。

また，本学の一般選抜に出願する場合は，「令和８年度神戸大学学生募集要項（一般選抜）」に基づいて，出願手続を行ってください。

15　個人情報の取扱いについて

（１）　本学部が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」の法令を遵守するとともに，「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取り扱います。

（２）　入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学者の選抜（出願処理，選抜実施），合格者発表，入学手続業務，今後の入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究のために利用します。なお，調査・研究及び結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。

（３）　出願にあたって提出された個人情報は，入学者の個人情報についてのみ，入学後の学生支援関係（健康管理，授業料免除及び奨学金申請），教務関係（学籍，修学指導）等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。

（４）　一部の業務を神戸大学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合，業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが，守秘義務を遵守するよう指導します。

（５）　国公立大学の分離分割方式による合格者及び追加合格者決定業務を円滑に行うため，氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り，合否及び入学手続等に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供されます。

16　留　意　事　項

（１）　**医学部医学科総合型選抜との併願はできません。**

（２）　**受験票が第一次選抜合格者発表日の３日前までに到着しない場合は，神戸大学医学部医学科教務学生係(078-382-5205)までご連絡ください。**

（３）　入学願書には，所定事項を黒色ボールペン又はペンで明確に記入してください。

（４）　出願書類等に不備がある場合には，受理しないことがありますので十分注意してください。

（５）　一度受理した出願書類等の返却及び記入事項の変更は認められません。ただし，連絡先に変更がある場合は，速やかに連絡してください。

（６）　出願書類等に不正の事実があった場合は，入学決定後であっても許可を取り消すことがあります。

（７）　「令和８年度学校推薦型選抜(地域特別枠)受験票」は，入学手続に必要ですので大切に保管してください。

（８）　障害のある者等で，受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者は，令和７年12月22日(月)までに医学部医学科教務学生係に申し出て相談してください。

（注）　事前相談は障害のある者等に本学の現状をあらかじめ知っていただき，受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので，障害のある者等の受験や修学を制限するものではありません。

日常生活においてごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので，事前に相談してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

《 麻しん（はしか）・風しん等の感染予防措置 》

１．麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

本学では「麻しん風しん登録制度」を定め，入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため，全ての新入生に次の①，②，③のいずれかを入学後４月上旬に実施される新入生健康診断時に提出していただいています。ただし，医学部では①又は③のいずれかに限ります。

① 麻しん・風しんのワクチン接種を満１歳以降に，それぞれについて２回ずつ受けたことを証明する書類（推奨）
② 過去５年以内（令和３(2021)年４月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を，それぞれについて１回ずつ受けたことを証明する書類
③ 過去５年以内（令和３(2021)年４月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が，「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次頁の表を参照）を有していること」を証明する書類

＊ ①，② のワクチンは，麻しん・風しん混合ワクチン（ＭＲワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
＊ ①，② では，接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。
＊ **母子手帳**等のワクチン接種記録や**接種済証**も，接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば ①，② の書類として使用できます。
＊ 既往歴（かかったこと）がある場合は，③を提出するか，ワクチン接種を受けて ① か ② を提出してください。
＊ ③ では，次頁の表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され，測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には，必要なワクチン接種を受け，① か ② を提出してください。
＊ ①，②，③ の書類の組み合わせ，例えば麻しんについては ①，風しんについては ③ を提出してもかまいません。
＊ 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず，病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には，その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
＊ 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

＜提出期限と提出先＞
提出期限：４月入学者は新入生健康診断実施日
提出先　：健康診断会場内 麻しん風しん登録受付

２．流行性耳下腺炎と水痘のワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について
［医学部の新入生のみ］

医学部の新入生には上記の麻しん・風しんに加えて，流行性耳下腺炎と水痘についても，①ワクチン接種を満１歳以降にそれぞれについて２回ずつ受けているか，②過去５年以内（令和３(2021)年４月以降）に受けた抗体検査で「発症を防ぐのに十分な血中抗体価（下表を参照）」を有しているか，のいずれかを証明する書類（様式は合格発表後に医学部入学試験合格者に郵送します。）を提出していただきます。

医療従事者には，原則２回のワクチン接種歴が求められるようになってきていることから，可能な限り①の２回のワクチン接種歴を提出することをお勧めします。罹患歴がある場合は②でもかまいません。

また，血中抗体価が不十分な場合には，必要なワクチン接種を，満１歳以降にそれぞれについて２回ずつとなるよう提出期限までに受けていただきます。（２回のワクチン接種は４週間以上の間隔をおいて受けることが必要です。）

流行性耳下腺炎，水痘の血中抗体価が不十分にもかかわらず，病気や体質等やむを得ない事情によって予防接種を受けられない場合には，その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。

＜提出期限と提出先＞

提出期限：第１学年の６月末日

提出先　：保健管理センター楠分室

発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

	測定方法	判定基準	備　考
麻しん	IgG－EIA法 PA法 NT法	8.0以上の陽性 (16.0以上)　＊ 256倍以上の陽性 (256倍以上)＊ ４倍以上の陽性 (8倍以上)　＊	３つの測定方法のうち，いずれかで陽性 ＊医学部は，３つの測定方法のうち，いずれかで（　）内の値以上の陽性
風しん	HI法 IgG－EIA法	32倍以上の陽性 8.0以上の陽性	２つの測定方法のうち，いずれかで陽性（HI法を推奨）
流行性耳下腺炎	IgG－EIA法	4.0以上の陽性	医学部のみ
水　痘	IgG－EIA法 IAHA法 NT法	4.0以上の陽性 ４倍以上の陽性 ４倍以上の陽性	医学部のみ３つの測定方法のうち，いずれかで陽性（IgG－EIA法を推奨）

＊ワクチン接種歴が条件を満たす場合や満たすように追加接種する場合は，抗体検査は不要です。

＊血中抗体価の測定は，この表の方法によってください。

＊発症を防ぐのに十分な血中抗体価は，測定方法によって異なります。また，**単に抗体陽性とされる値よりは高い値**なので注意してください。特に，医学部では，麻しんの血中抗体価が（　）内の値以上の陽性であることが必要です。

＊ 医療機関を受診する際には，必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか，予め確認してください。また，この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。（特に，抗体検査を受ける場合は，測定方法と判定基準を確認してもらってください。）

＊ 神戸大学保健管理センターのホームページも御参照ください。

（URL：http://www.health.kobe-u.ac.jp/）

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学 保健管理センター　　TEL 078-803-5245

神戸大学 学務部学生支援課　　TEL 078-803-5219

《 入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除について 》

免除等の内容，申請方法等の詳細は，神戸大学ホームページ（「学生生活・学生支援」→「経済支援」→「授業料（入学料）の免除及び入学料の徴収猶予について」）に掲載します。
（URL：https://www.kobe-u.ac.jp/ja/campus-life/financial-aid/tuition/）
掲載内容について，不明な点等がある場合は，下記の問い合わせ先に照会してください。

【入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問い合わせ先】
神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1
メール：stdnt-shogakushien@office.kobe-u.ac.jp
（問い合わせの際は，必ず，学籍番号（学籍番号が不明の場合は受験番号），氏名を記載してください。）

［参考］
令和７年度の入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除の内容は，次のとおりです。

１．入学料免除について
（１） 大学等における修学支援に関する法律の施行に伴い令和２年４月から始まった「高等教育の修学支援新制度」（以下「新制度」という。）の申請資格を満たす入学者は，日本学生支援機構の**給付奨学金（多子世帯含む）**について，次のいずれかに該当する場合に申請ができます。
① すでに予約採用を行い採用候補者となっている。
② 入学後に在学採用の申込みを行う。
（注１）上記 ① ② いずれの場合も，入学後，必要な手続を行ってください。手続を行わなかった場合は，入学料徴収猶予に切り替えて取り扱います。
（注２）一部免除又は免除不許可になった場合は，必ず決められた期間内に入学料を納付しなければなりません。
（２） 新制度の申請資格を満たさない入学者（留学生・学士編入学者・高等学校等を初めて卒業した年度の翌年度の末日から，大学等に入学した日までの期間が２年を経過した者等）においても，次のいずれかに該当する場合に申請ができます。
① 入学前１年以内に，学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
② その他，①に準ずる場合で本学が相当と認める事由がある場合
（注１）入学料を納付した者は，入学料免除の対象となりません。
（注２）一部免除又は免除不許可になった場合は，必ず決められた期間内に入学料を納付しなければなりません。

２．入学料徴収猶予について
次のいずれかに該当する場合は，本人の申請に基づき，選考のうえ，入学料の徴収を猶予されることがあります。
① 経済的理由によって入学料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる場合
② 入学前１年以内に，学資負担者が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が困難であると認められる場合
③ その他やむを得ない事情により納付期限までに納付が困難であると認められる場合
（注）徴収猶予が許可になった場合でも，必ず決められた期間内に入学料を納付しなければなりません。

３．授業料免除について
新制度の申請資格を満たす者について，日本学生支援機構の**給付奨学金（多子世帯含む）**とあわせて実施します。

医学部医学科試験場案内図



試　験　場	所 在 地	交　　通　　機　　関
神戸大学 医学部附属 地域医療活性化センター	神戸市兵庫区 荒田町２−１−５	○ＪＲ「神戸」駅下車　北へ徒歩約15分 ○神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車　北へ徒歩約10分 ○神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車　西へ徒歩約８分 ○バス利用　ＪＲ「神戸」駅前より神戸市バス110系統，112系統に乗車 約５分「楠町６丁目」バス停下車

入学願書記入上の注意

① 願書の空欄（※印の箇所を除く。）に所定事項を**黒色のボールペン又はペン**で記入例を参照して明確に記入してください。
　なお，誤りや記入もれのないよう特に注意してください。
② 出願後は，記入事項の変更を認めません。ただし，連絡先の変更については⑥のとおり速やかに連絡してください。
③ 文字は楷書，数字は算用数字で記入してください。
④ 誤って記入した場合は，誤記部分を二重線で消し，訂正してください。

（記入例）

令和８年度　神戸大学入学願書　（医学部医学科学校推薦型選抜用）

神戸大学長　殿
私はこのたび貴大学に入学したいので，必要書類等を添えて出願します。

受験番号　※

フリガナ　コウベ　タロウ
氏名　神戸　太郎　（男）・女
平成20年　1月11日生

大学入学共通テスト成績請求チケット貼付欄
推薦　令和8共通テスト成績請求チケット　国公立推薦型選抜用
1001K−20001X−1
（コウベ　タロウ）
神戸　太郎

出願資格
学校所在地　兵庫　都道府（県）
県立　東西　高等学校
令和8年3月　卒業・（卒業見込）

課程　全日制　定時制　通信制
学科　普通科　農業科　商業科　理数科　工業科　（　）

調査書　※
受付月日　※
取扱者　※　※

志願者連絡先
〒657-8501
兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
電話（078）881　-1212
携帯電話　090　-123　-××××
E-mail　kobe●●●@gmail.com

保護者連絡先
氏名　　続柄
〒□□□-□□□□
電話（　）　−
携帯電話　−　−

出願資格の確認　該当するものを○で囲んでください。
(1)：兵庫県内の高校等を卒業又は卒業見込み
(2)−A：本人が３年以上継続して兵庫県内に在住
(2)−B：保護者が３年以上継続して兵庫県内に在住

⑤ 課程・学科は該当するものを○で囲んでください。

⑥ ４月上旬までの間，連絡できる場所を記入してください。連絡先に変更があれば，速やかに医学部医学科教務学生係へ連絡してください。

⑦ 出願資格をよく確認し該当するものを○で囲んでください。

切りはなさないでください

令和８年度　整理票　（神戸大学医学部医学科 学校推薦型選抜用）

写真
３か月以内に撮影のものを全面のり付けしてください。（上半身，脱帽，正面，縦４cm・横３cm）

受験番号　※
フリガナ　コウベ　タロウ
氏名　神戸　太郎　（男）女
平成20年　1月11日生
連絡先　〒657-8501
兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
電話（078）881　−　1212
携帯電話　090　−　123　−　××××

入学試験状況

年　　度	募集人員	性別	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
令和5年度	10	男	13	9	4	4
		女	16	10	6	6
		計	29	19	10	10
令和6年度	10	男	23	15	7	7
		女	17	5	3	3
		計	40	20	10	10
令和7年度	10	男	15	8	6	6
		女	16	12	4	4
		計	31	20	10	10

入試に関する問い合わせ先

神戸大学　医学部医学科　教務学生係

〒650－0017　神戸市中央区楠町７－５－１
☎ ０７８－３８２－５２０５

2027

神戸大学

令和９年度
入学者選抜要項

②総合型選抜

総合型選抜

（国際人間科学部発達コミュニティ学科）

（理学部生物学科，惑星学科），（医学部医学科）

出願期間　　９月　～　１月　※

試験日　　９月　～　２月　※
大学入学共通テスト

合格者発表　　２月　※

入学手続　　２月

※詳細は，P49～P62を参照してください。

「志」特別選抜

（文学部），（国際人間科学部環境共生学科），（法学部）

（医学部保健学科），（システム情報学部）

（農学部），（海洋政策科学部）

出願期間　９月１日(火)～９月７日(月)

第１次選抜　　９月26日(土)

第１次選抜合格者発表
10月21日(水)

最終選抜　　10月31日(土)

合格者発表　　11月26日(木)

入学手続　　12月７日(月)

※詳細は，P77～P82を参照してください。

③学校推薦型選抜

学校推薦型選抜

（国際人間科学部グローバル文化学科）

（経済学部），（経営学部），（医学部医学科）

（医学部保健学科(作業療法学専攻)）

（システム情報学部）

出願期間　11月　～　１月　※

試験日　　10月　～　２月　※
大学入学共通テスト

合格者発表　　２月　※

入学手続　　２月

※詳細は，P63～P76を参照してください。

私費外国人(留)学生特別選抜

出願期間　　12月～２月　※

試験日　　２月　※

合格者発表　２月～３月　※

入学手続　　３月

※詳細は，P83～P87を参照してください。

◎学校推薦型選抜（地域特別枠）

<table>
<tr><td>学部・学科名等</td><td>医学部医学科</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>１０人</td></tr>
<tr><td>出願資格及び
出願要件並びに
推薦人員</td><td>
【出願資格】
次のいずれかに該当する者
（１）兵庫県内に所在する高等学校又は中等教育学校（以下，「高等学校等」という。）を令和７年４月から令和９年３月までに卒業又は卒業見込みの者
（２）兵庫県外に所在する高等学校等を令和７年４月から令和９年３月までに卒業又は卒業見込みの者であって，出願時において，本人又は保護者のいずれかが３年以上継続して兵庫県に在住している者

【出願要件】
次のすべての要件を満たす者
（１）高等学校等の長が責任をもって推薦でき，合格した場合は入学を確約できる者
（２）兵庫県が貸し付ける修学資金を受給し，かつ卒業後は兵庫県が指定する医療機関で従事することが確約できる者
（３）調査書における全体の学習成績の状況（旧評定平均値）が4.3以上で，かつ人物が優れていると認められる者
（４）令和９年度大学入学共通テストで医学科が指定する６教科８科目（下記参照）を受験する者

大学入学共通テストの利用教科・科目名
<table>
<tr><td>教科名</td><td colspan="2">科　目　名</td></tr>
<tr><td>国語</td><td colspan="2">『国語』</td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td>『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，
『歴史総合，世界史探究』</td><td rowspan="2">から１</td></tr>
<tr><td>公民</td><td>『公共，倫理』，『公共，政治・経済』</td></tr>
<tr><td>数学</td><td colspan="2">『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』</td></tr>
<tr><td>理科</td><td colspan="2">『物理』，『化学』，『生物』から２</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td colspan="2">『英語』</td></tr>
<tr><td>情報</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td></tr>
</table>
【注１】『英語』については，「リーディング」と「リスニング」を課します。

【推薦人員】
各高等学校等から推薦できる者は，１校当たり２人以内とします。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>入試方法等</td><td>
高等学校等の長の推薦に基づき，推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。
なお，出願者数が募集人員の約２倍を上回る場合は，推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テストの成績により第１次選抜を行います。
この場合は，第１次選抜合格者にのみ，最終選抜として「面接・口述試験」を行い，推薦書・調査書・志望理由書の内容及び面接・口述試験並びに大学入学共通テストの成績を総合して入学者の選抜を行います。
<table>
<tr><th>試験の区分</th><th>国語</th><th colspan="2">地歴　公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>情報</th><th>その他</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>大学入学
共通テスト</td><td>150</td><td colspan="2">50</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>25</td><td>－</td><td>825</td></tr>
<tr><td>書類審査</td><td>－</td><td colspan="2">－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>100</td><td>100</td></tr>
<tr><td>面接・
口述試験</td><td>－</td><td colspan="2">－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>300</td><td>300</td></tr>
</table>
【注２】①大学入学共通テストの「外国語」における『英語』の成績は，リーディング（100 点満点）を 160 点満点，リスニング（100 点満点）を 40 点満点に換算し，合計得点 200 点満点に換算します。また，リスニングを免除された者については，リーディング（100 点満点）を 200 点満点に換算します。
②大学入学共通テストの「地理歴史」，「公民」で２科目を受験した場合は，第１解答科目の成績を用います。
</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>令和９年１月13日（水）から令和９年１月20日（水）17時まで《必着》</td></tr>
<tr><td>第１次選抜方法</td><td>
【選抜方法】
出願者数が募集人員の約２倍を上回る場合は，推薦書・調査書・志望理由書の内容及び大学入学共通テストの成績により第１次選抜を行います。
【選抜結果の通知】
令和９年２月４日（木）志願者全員に合否結果を医学部医学科ホームページ等で通知します。
</td></tr>
<tr><td>最終選抜方法</td><td>
【選抜方法】
第１次選抜合格者にのみ，最終選抜として「面接・口述試験」を行い，大学入学共通テストの成績，推薦書・調査書・志望理由書を総合して選抜します。
「面接・口述試験」を通して，地域医療・医学への興味や適性，学習意欲，思考性，論理性，人間性などについて多面的・総合的に評価します。学校推薦型選抜（地域特別枠）の実施目的を考慮し，特にへき地（医師不足地域等）の医療に対する熱意及びへき地（医師不足地域等）に定着できる可能性等の観点から受験者の資質を見極めます。
【選抜期日】
令和９年２月７日（日）面接・口述試験
</td></tr>
<tr><td>合格者発表日</td><td>令和９年２月10日（水）</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>
【注意事項】
医学部医学科総合型選抜との併願はできません。
詳細は，学生募集要項で確認してください。
【学生募集要項請求方法】
（１）募集要項は，令和８年 10 月下旬に発表する予定です。
（２）郵便により請求する場合は，封筒に必ず「医学部医学科学校推薦型選抜学生募集要項請求」と朱書し，受信者の住所，氏名，郵便番号を明記の上，郵便切手 270 円（医学部医学科案内パンフレットも請求する場合は 320 円）を貼付した返信用封筒（角形２号）を同封して下記まで請求してください。
〒650-0017　神戸市中央区楠町７－５－１
神戸大学医学部医学科　教務学生係
詳細は，医学部医学科ホームページをご覧になるか，医学部教務学生グループ（医学科教務担当）にお問い合わせください。
</td></tr>
</table>

KOBE UNIVERSITY

神戸大学　学務部入試課
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
TEL:078-803-5230

www.kobe-u.ac.jp

受験生応援サイト
神戸大学受験生ナビ